

地域課題解決を自社事業に

採用力強化・企業価値向上・経営革新につながる

地域発 シン・経営戦略

中部経済産業局 地域課題解決事業推進啓発イベント

2026年 1/20 (火) 14:00-16:20

株式会社風とつばさ
代表取締役
水谷 衣里氏

岡野バルブ製造株式会社
代表取締役
岡野 武治氏

人口減少など地域を取り巻く環境が変化する中、地域課題の担い手として地域の企業への期待が高まっています。先進的な企業の取組を調査すると、地域に根ざした挑戦が企業の信頼や存在価値を高め、採用力や経営革新につながる好循環を生み出していることが分かりました。本セミナーでは、地域課題解決を自社事業に取り入れ、持続可能な経営を実現する「地域発 シン・経営戦略」を実践事例を通じて学びます。

こんな方におススメ!

地域の衰退や人手不足に危機感を持っている地域企業、新事業展開や自社の成長戦略を模索している経営者や後継者・経営幹部・新規事業担当者、地域の企業支援をおこなう経営支援機関、地方創生・公民連携に取り組む自治体関係者 等

会場

名古屋会場：ウインクあいち 1302会議室
(愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38)
(オンライン：Teamsでの配信)

定員

名古屋会場：先着50名 ※オンラインに定員はありません。

参加費

参加無料

プログラム

報告

地域企業の動きにみる経営転換の実態 (報告者：PwCコンサルティング合同会社 北原 菜由香)

地域企業へのヒアリングを通じ、地域課題への取り組みは単なる社会貢献ではなく、経営環境への適応策としての“経営転換の在り方”であることが分かりました。本パートでは、企業の変容の背景や、企業・地域に起こった変化の概要をお伝えします。

基調講演

何を軸に経営するのか? ～社会の構造変化からの示唆～ (登壇者：株式会社風とつばさ 代表取締役 水谷 衣里氏)

人口減少や多様化など環境が激変する中、地域企業の実践を起点に経営の「軸」をどう捉え直すか。社会構造の変化という視点から、地域と向き合うことが企業の未来にどうつながるのかを紐解きます。

第一部

自社の存在意義を再考する経営の実践 (登壇者：岡野バルブ製造株式会社 代表取締役 岡野 武治氏)

環境変化を受け、自社の役割を再定義することで新たな機会が生まれています。本パートでは岡野バルブ製造株式会社の「意味価値経営」を事例に、事業の意味を問い直すことが、いかに独自の価値提供や事業の広がりにつながるか、その実践経験を伺います。

第二部

パネルディスカッション ～「地域発 シン・経営戦略」の実践と成果～

地域課題への取り組みは、経営力強化や人材確保など多面的な成果を生んでいます。各社が活動を始めたきっかけや得られた知見を紹介し、事業の持続性と新たな価値創出につながる、今後の経営への示唆をお伝えします。

登壇者：岡野バルブ製造株式会社 代表取締役 岡野 武治氏
大橋運輸株式会社 代表取締役社長 鍋嶋 洋行氏
株式会社フジ技研 取締役常務 鏡谷 有紀氏

コメンテーター：株式会社風とつばさ 代表取締役 水谷 衣里氏
モデレーター：カンダまちおこし株式会社 代表取締役 田代 達生

※閉会后20分程度、参加者同士の懇親の場を設けます。



大橋運輸株式会社
代表取締役社長
鍋嶋 洋行氏



株式会社フジ技研
取締役常務
株式会社フジ技研カゴシマ
代表取締役社長
鏡谷 有紀氏

お問い合わせ

主催：中部経済産業局
事務局：令和7年度地域課題解決に取り組む事業者増加のための事業モデル調査
事業事務局 (PwCコンサルティング合同会社・カンダまちおこし株式会社)
お問い合わせ：Tel: 080-7837-0566(中畑)、070-1402-0649 (後藤)
Mail: jp_chubu_local_value@pwc.com

参加申し込み



会場参加、オンライン参加ともに、こちらから申込みください。

申込期限：
2026年1月15日 (木)

登壇者プロフィール

キーノートスピーカー

基調講演 第二部



株式会社風とつばさ
代表取締役
水谷 衣里氏

三菱UFJリサーチ&コンサルティングにて、民間公益活動や企業の社会貢献に関する研究やコンサルティングに従事。独立後もソーシャルセクターの資金還流やソーシャルベンチャーの経営支援、越境学習のコーディネートにも携わるほか、大学での教育や講演・執筆等による知的貢献を続ける。

シン・経営戦略の実践企業

第一部 第二部

九州地方・製造業



岡野バルブ製造株式会社
代表取締役
岡野 武治氏

1981年東京生まれ、北九州市育ち。上智大学経済学部卒業。2006年に岡野バルブ製造へ入社。設計、発電所現場、工場現場、生産技術、生産管理、営業、管理部門などを経験し、2012年取締役、2016年常務取締役を経て、2020年2月に代表取締役就任。趣味は筋トレ、旅行(60カ国以上)、勝負事、素潜り。

事業概要 発電用高温高圧バルブの製造・保守を中核に、その他工業製品の受託生産や工業プラントにおける各種工事を行う。さらに長年の技術と変革のノウハウを活かし、研究開発受託やDX支援、地域・産業振興まで事業を拡大。製造業の枠を超え、財務価値と社会的な価値の「意味価値」の両立を追求している。

第二部

中部地方・製造業

第二部

中部地方・運輸業



株式会社フジ技研
取締役常務
株式会社フジ技研カゴシマ
代表取締役社長
鏡谷 有紀氏

調理専門学校卒業後、1992年に実家の株式会社フジ技研に入社し35年。現在、取締役常務および株式会社フジ技研カゴシマ代表取締役社長。男性中心だった自動車部品製造業界で20年前から女性採用を推進し、働きやすい職場環境づくりに尽力。2022年モノづくり複合施設FUJIHUB開設、養鶏場事業承継、最先端農場での農業参入など新規事業を展開。子どもたちへのモノづくり教育「Real job dream」を通じて地域の未来を応援。働く女性のネットワーク三重副代表、いなべ商工会女性部副部長として地域活動にも積極的に取り組んでいる。

事業概要

自動車部品の試作・量産から金型・検具・治具・専用機的设计製作まで、設計から製造までを一貫して手がける。近年はモノづくりワークショップ施設の運営、飲食・物販事業、養鶏・農業事業も展開し、地域に根ざした複合的な事業を展開している。



大橋運輸株式会社
代表取締役社長
鍋嶋 洋行氏

大学卒業後、地元信用金庫に7年勤務。その後、妻の祖父が創業した大橋運輸に1998年4月入社、同年11月代表取締役に就任して現在に至る。運輸業として付加価値を高めるために、社員のES向上やダイバーシティ経営・健康経営・地域活動に取り組んでいる。

受賞歴：経済産業省 新・ダイバーシティ経営100選プライム・健康経営優良法人（9年連続・プライト500は5年連続）
個人活動として、社会福祉法人の評議員や市民後見人として、地域活動に取り組んでいる。

事業概要

法人輸送事業として自動車部品輸送、個人サービス事業として生前整理・遺品整理・引っ越しサービス等を展開。地域に根差した活動として、社内の健康経営ノウハウを活かした住民向け健康教室や行政連携にも注力している。